

# 明治150年記念 後世に伝えたい山口県ゆかりの人物等

## 研究支援事業審査委員会委員による講評②

### 1 三宅紹宣 広島大学名誉教授

点から面に広げられて全体像を明らかにされ、立派な成果を挙げられたと思います。歴史の研究は未整理の資料を地道に整理して分析し、新しいものを生み出していくというものですので、まさにこれからより成果が期待される段階に入っていくのだらうと思います。また、今回は分析対象を学校だけに絞られていましたが、近代史の資料、例えば行政文書の中に教育の事務資料があったりしますので、それらを踏まえて、歴史全体の中での位置付ける作業も重要になってくると思います。これも非常に地道で手間のかかる作業ですが、今後はそれらの観点を踏まえながら研究を行っていただければ、より深みのある研究になると思います。

### 2 稲益あゆみ 下関市立歴史博物館学芸員

この研究は、他の研究と少し違った視点で行われて面白かったと思います。資料調査についても文献だけではなく、現地に行かれたり、お話を聞かれたりと様々な調査が行われていましたし、発表もパネルでの展示や、パンフレットの作製など、一般の方にとっても分かりやすいものだったのではないのでしょうか。課題として、未整理の資料等、まだ沢山調査されていない資料があるとのことでしたので、今後継続して調査をしていただき、研究を深めていただければ幸いです。